

公開講座

全体テーマ

「つながる力・つなげる力」

どなたでも
受講できます



白百合女子大学での研究や教育の喜びが、今後思いもよらぬ形で地域や社会の中でつながり、多様で豊かな社会をつくりだすきっかけとなることを願い、2024年度の公開講座を開催いたします。

受講料 1000円、当日支払い

申込方法 申込みフォーム(右記QRコード)または
大学HPよりお申込みください



5/25^土
10:00-11:30

鈴木 忠

白百合女子大学 人間総合学部
発達心理学科 教授



テーマ

「選ばなかった道」とウエルビーイング

人生は進学や就職、結婚など選択の連続です。何かを選ぶということは、「選ばなかった道」があることを意味します。そのような「道」は大人の発達にとってどのような心理学的意味をもつのでしょうか。その問いを手がかりに、私たちにとっての幸福(ウエルビーイング)について心理学の立場からお話します。

講師紹介 東京大学で教育学博士の学位を取得し、1995年に白百合女子大学の教員になり現在に至っています。専門は、描画にみる子どもの発達と、高齢者の認知能力と学習可能性、最近ではウエルビーイングについて研究しています。

特別講演

9/7^土
10:00-11:30

講演者

平野 啓一郎

小説家



1975年生まれ。京都大学在学中に『日蝕』により芥川賞。小説『ある男』で読売文学賞。同作は映画化され日本アカデミー賞最優秀作品賞、最優秀監督賞はじめ8部門で受賞。2024年、『本心』も映画化決定。評論『三島由紀夫論』では第22回小林秀雄賞を受賞。

テーマ

三島由紀夫 生誕 100 年を前に

2025年1月14日、三島由紀夫は生誕100年を迎えます。『三島由紀夫論』の著者でもある小説家の平野氏をお迎えし、いま、三島を読み直す意味をお話しいたします。

聞き手

井上 隆史

白百合女子大学 文学部 国語国文学科 教授



『暴流(ぼる)の人 三島由紀夫』(平凡社)で読売文学賞、やまなし文学賞受賞。『大江健三郎論—怪物作家の本当ノ事』(光文社)、『津島佑子の世界』(水声社、編著。津島佑子は本学英文科を卒業)などの著作がある。

10/12^土
10:00-11:30

やた みほ

白百合女子大学 人間総合学部
児童文化学科 准教授



テーマ

コマ撮りアニメに挑戦!~アニメーション作りと生涯教育とのつながりを考える~

モノを少しずつ動かしてはシャッターを押す「コマ撮りアニメ」作りを通して、色々な可能性を見出して頂きたい。「難しそう」「デジタルに疎いから…」と敬遠せず、アニメーション作りを友達、親子、孫・祖父母間のコミュニケーションツールにしてみませんか? ご自身のスマホやタブレット、もしくは大学のiPadをご使用下さい。

講師紹介 1999年から編み物でアニメーション(編みメーション)を制作。主な作品にNHK プチプチ・アニメ「けいとのようせいニットとウール」、「アメチャウ国の王さま」シリーズがある。日本アニメーション協会会員

12/7^土
10:00-11:30

白井 澄子

白百合女子大学 人間総合学部
児童文化学科 非常勤講師・元教授



テーマ

カナダ児童文学—動物物語に見る動物と人とのつながり

カナダ児童文学の中でも動物物語にはカナダらしさがよく出ています。野生の狼を扱った『ロボ』、ペットの犬と猫がロッキー山脈を越える『三匹荒野を行く』、さらにはコウモリの冒険ファンタジー『シルバーウィング』などが書かれてきました。カナダの自然・動物・人の関わりに注目しつつ動物物語の系譜を見ていきましょう。

講師紹介 白百合女子大学児童文化学科教授を退職後、非常勤講師として「児童文学カナダ」などを担当。カナダ児童文学への関心はプリティッシュ・コロンビア大学大学院で出会った恩師シーラ・イーゴフの影響が大きい。

Shirayuri University

開催概要

- ・対面式
- ・会場/白百合女子大学 11号館 クララホール
- ・都合により講座の延期や中止、内容変更等生じる場合がございます。その際には大学ホームページにてお知らせいたします。

問合せ先

社会連携センター

☎ 03-3326-6877 ✉ renkei@shirayuri.ac.jp



白百合女子大学
<https://www.shirayuri.ac.jp/>

